夕刊 常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電話1210
編集兼印刷発行人　池田一夫

町議會へ町長和解

黑白依然ナゾの湯本問題

湯本町二月定例議会は廿八日午前九時から同町役場会議室で開き十一議案とも原案通り可決されたが佐藤、本田、駒木根、山田議員から緊急質問として

▼芥塵焼却所に関する件▼大字湯本財産区に関する件が提案され本会議終了後、協議会に入り佐藤議員立つて焼却所運営管理面について非常に疑がわしい点がある、即ち厚生委員長である菅野議員が留守番役になつて居住しているが、これは管理者たる町長が任命したのか、また運営面にも疑惑の目が注がれているこの点歴然としてもらいたいと追め寄り、駒木根議員からも質問あつたが

小野副議長から

留守番の任命は管理者たる町長が任命してさしつかえなし、同僚議員を議会上で道義的に個人攻撃することはどうかと反対意見があり、佐藤議員再び立つて道義的な人身攻撃だけでは無い、失業者の中から住宅難に苦しむ者を救済する約束で町長に一任した、町議員を新住宅に住ませる様なことは良心的で無い

飯島議長

執行権の問題であるから、心臓男に反省を促すことは止めるとあつて、この問題は一応ケリとなつたが、次に財産区問題として本田議員から、提案説明があり

飯島議長所見として

町会議員四名から緊急動議が出た、区政問題の動き、町に及ぼす影響は実に大きく、町会議員も区議員以上に関心を持つべきである、町、区とも新自治法によつて分れているが、関連性もあり、町議員としても、慎重に町愛精神を発揮し、真意が何処にありや否やを町政懇談会でも開いて軽い意味で研究話し合いたい

と発言あり、小野副議長は過去大正二年にさかのぼつて区会設置に至つた経過を述べ

六ケ年の空白時代が実現したのでその後温泉管理委員と称する前議員にはかつて審議続け執行して来たのである、今にして見れば無資格な議会にはかり、即ち幽霊議員存在し、運営して来たので、その全てが専決事項となつてしまつた、この様な問題を引き起したのも一つには前議員の注意力の欠除にあるとも考いられる

との管理委員の攻撃があり、結局町長松本久吉氏が専決として行つた廿六条の究明を自治法に基き行うべきであると論理一点張りの議員と政治性に基き、その折の実情状況を参酌し温情主義的な解決を望む議員が対立し論戦を闘わせたが

飯島議長から

現在のイザコザが事実どの程度なのか、調査する必要はあるがこれを町会でと上げるのはどうか、廿一日松本町長が仲介役に入つて呉れと頼みに来ているし私としても十分、明確に調査、研究し、町の建設的な発展のためにも、町長に反省すべき点があれば反省を求め区議員も過去の管理事情をよく考え、感情に走らず解決するよう努力したい今も松本町長と富樫区議長から明日の区議会に出席してくれと頼まれているから本腰を入れて和解につとめる

との発言あり、全議員も善処方法を正、副議長に一任した、なお駒木根、佐藤、本田氏らは町長の出場を求めた現在の心境説明を求め

死と財産

小貫数馬

人は死によつて事業や財産その他一切のものと別れなければならない。切々忽々として寝る目も見ずに蓄積した財産は、存命中なら自分の自由意志によつて処分出来るが、自分が死んだら一体どうなるであろう、死亡によつて人格は消滅するのであるから、その一切の権利義務は、それぐの相続人に継承され、相続人のない財産は国家のものに没収されることは民法の規定するところである。被相続人の配偶者と子が三人で正味財産（債務を差引いた額）が百万あれば、配偶者は三分の一、即ち三百三十三万三千円、子が残りの三分の二、即ち六百六十六万六千円更らにその三分の一である二十二万二千円をそれぐ相続することになる、この場合配偶者は夫婦財産制の見地から相続財産の二分の一を配偶者控除として十六万六千円、少額控除三万円基礎控除十五万円控除するから相続税は零となり、配偶者に全財産が帰属する、子供が成年のときは税金が概ね一万五百円を納め、差引二十一万一千円がそれぐの子に分配されることになる、配偶者が死亡し、子のみの場合は子は平等に相続するその他いろくの規則に従つて、各相続人に帰属することになる。残された財産か銀行予金とか郵便貯金であれば、直ちに現金化され分配は簡単だが、家屋や船舶の如き分割の出来ないものがあり、計算は出来ても実際分配となると困難性が伴うことが多いので、二男や三男や他家へ嫁した者らは昔から伝わつた家族制度の本質に鑑み相続分を放棄する者が多いようである。かなる場合はその家に財産が帰属するので昔と何等変りない民法は法定相続分を規定してあるのであるが、死んだ後どうなるか判らないと思つてが、財産を贈与する者続出しているが、もらう方には悦んで有難くもらうのと、悲しみ苦しんでいやくながら仕方なくもらう者がある、後者の場合親として子の気持を理解しない余りの無慈悲行為であると思う、いらない財産をもらうのだからさぞ苦痛であろう。この気持をのみ込んで財産を蓄積すべきであろうし持てる者の苦労も相当しき烈なことをわれくにもよく理解せねばならぬであろう

（筆者は平税務署長）

遺憾です

松本町長談

当の松本町長は

「区の問題で騒ぎを起し、町議各位の御心配に対しては感謝のほかにない、私も就任以来区政問題では頭を痛めているが、事務処理、議会運営に不なれの点があつたことは遺感に思つている、区運営二年有半を客観的情勢で見ると非常に困難な建設問題が起り、町発展のため、問題もあり、事務処理した、運営の面も、もう少し研究すればよかつたと悔いている、温泉、山林管理など重要な問題で、町発展のため大きな課題であつた区も町の協力を得なくてはならないし、町の御世話を願うため財産区も町の一環として行きたい、このことは町、区議会にはかり建設的に町発展を志したい

森林拂下げの事實

湯本區會町長つるし上げ

問題の湯本区議会は本会議終了後協議会の形式で、庄司、鯨岡両氏の叫ぶ不正問題について議論に花が咲き、当面の責任者松本町長も引つぱり出されて黒白がハツキリするものと注目されたが、結果次の如く、当局のウナギ式答弁によつて終つた、即ち区議会の経過大要は次のよう

松本町長

専決処分の件は過去六ケ年にもわたりまた非常に莫大なため、なお一層正確と議事運営を図るため、各条項毎に決算内容、附則を附けるべく製作中であるが、何分事務多忙と重大な案件のため時間ががかゝり、未だ完成してないので三月定例議会には上程致します

と説明了解を求めてから、まず庄司氏起ち

われわれは廿六年に議員になつた、廿五年の予算審議を行う議務がある、正、副議長、出納検査立会員が任命されて居りながら、調査もせず提案し、またあの莫大な専決処分とし、また一度提出した物を出さないことにするということは全国にまだ例がなく、このとき議長は閉会せず、あくまで会期日（三日間）中に審議すべきだ、これは私として承知した、われわれは貰い一票に依つて選出されたものである、個人審議権で正しいことを追求したまでで、これは権利の発動で議員としての当然の義務と権利を行使したものだ、決して議会を無視したのではないと述べ、江尻議員から専問委員に委せるべきだとのムヤムヤ案が提案されたが、全員で否決

渡辺議員は

「提案しないものを審議するのは不思議だ、なぜ今日提案しなかつたか、前議会議事録にも、明記してあるはづだ、町長の心境を聞き正すべきだ」と結め寄られ

松本町長

専決処分決算書は前議会で出さないことになり、また過去六ケ年の不備の説明の点があり、事務調査の資料を製作、運営面でも協議会で審議し、本会議に承認を求めたいと思つていると弁明したが、庄司議員から重ねて「出したけれども出さないことにする」と云うのはさしつかえないか、そうすれば「専決処分」は何年間行つてもさしつかえないか

松本町長

議事運営面において、出さないことは、やはり出さないことで提案しなかつた事だと思います事務的に遺憾な点があつたことは、不慣れであつたためで御わび致します、また出納立会人は議会の要望があれば任命すべきて、町長には権利なし、前区議員は廿年十一月四日に任期満了となつた折、矢吹町長時代で終戦直後で議員の任期は政令に依つて一年延期になり、区会は何んら政令がなかつたため、町会に従つた、廿五年六月十三日私が就任し県に伺書を出した所、専決で処理出来る様であり、また表町、裏町、横町の温泉円筒工事を施行せねばならず区としては財源が乏しく、町建設的発展のため放置出来ないので止むを得ず前議員を温泉委員として協議し施行したものである、その時区の存廃問題が起き、研究もし、県、自治庁に再三伺書を提出したが、自治法の解釈がまちくであつたため、一応廃止認可申請書を県に提出したところ「例え一物たりとも財産があれば廃止すべからず、区会を設置、今後の運営をはかるへし」との注意があり、それまでの内容を一活し専決として提出したものである、事前に協議会を開き、説明し納得の議会運営を行えばよかつた、名幸議員から「廿五年六月十三日に招集したる議員の権限は」と追いかければ、松本町長「法規的には任期満了したる議員を招集議決したのであるから効果が無いと考えたから温泉委員として協議会形式で相談して来た

また鯨岡議員から

「議会成立後〃滝の沢〃で森林伐材を行い、建築用材としている、これはどうした事か、一応区会に諮るべきでは無いか」と爆弾的質問をすれば、町長「私は知りません」とのみ、内山助役

「これは請願書に基き、植林後雑木が生え、木の成長に影響するので、間伐を行いその不良木を払い下げたのです

各幸議員「最早伐採は終つたのか、不良木であつても区会がある以上、一応区会にはかり検討すべきだ

渡辺議員更に「払下げなどは町長の認可を得なかつたのか」助役「何分出張中だつたのですから」渡辺議員「そんなに半年も出張していたのか」

宮本議員

間伐の美名にかくれて利用する者があると疑惑の目が向けられているが、九月なら区議会設置の気運もありまたバツサイ期間でもない、その他森林の地帯でも大木を切り土をかぶせている、実体調査の必要がある

との提案で全議員の賛成を得、名幸、鯨岡両議員が委員に指名され、また三月定例議会に上程される案件を二十六条毎に逐条審議することにして閉会した

底引物三千貫

小名浜廿九日のにぎわい

小名浜漁協の水揚げ報知サイレンが景気よく廿九日正午ころ鳴り響いたと思うと、四倉沖へ出漁中の同港底引船がドツト入港し午後二時ごろは廿隻に及んだ、時ならぬこの大量の水揚げは、サメ大小取りまぜ一万一千貫、その他底引ものタコ、アカジ、ヤナギ、メヌキ、アンコ、など元気なセリの声が午後四時まで続いた。なおサメはほとんど東京へ、その他は初午用の食膳に近郷近在へ!! イカ、スケソウ、キス、ナメタなど約三千貫で、昨年末から本年にかけての大量水揚げに浜はゴツタ返えしの景気であつた

2154 藤越の五円当て

好評裡に終了

藤越の五円当て懸賞は昨報の如く応募者に二万名を突破して平本店（二一五四枚）小名浜店（二四一二）と決定したが、中には2154藤越と指定してくる人もあり非常な人気呼んだ

カツギ屋殺人犯人

逃走五日 遂に捕まる

カツギ屋殺人事件捜査本部では廿九日夜西白河郡矢吹町大字世畑字新田表具師高野四郎（四七）を矢吹町の自宅から緊急逮捕、県本部熊田警部、市署熊谷探てい長が一日朝五時半平市署に連行取調べを開始したが、本人は何も語りたくないからと黙秘権を行使罪状を否認している

但し被害者から強奪した、モチ米一斗七升を勿来町の某家に売り、押収したふろしきも犯人の自宅から発見されている事実に捜査本部では真犯人と断定、地裁支部に逮捕状を請求一日午後三時執行した

社告

阿部　喜正（営業部）
古川喜志介（営業部）

右の者二月二十九日付をもつて依願退職いたしました今後当社とは関係ありませんから御通知申し上げます

常磐毎日新聞社

きれいにおちて泡立ちのよい!!
洗濯用・亀用型・徳用角型
マイツル石鹸
袋屋本店
平市五丁目　電五一六番

酒類値上げの御知らせ
三月一日より酒類販売価格を左の通りの価格（ビン付）に値上げ致しました
★清酒　特級　一〇九〇円
　　　　一級　八七五円
　　　　二級　五六五円
★合成酒　一級　五八〇円
　　　　　二級　四五五円
★焼酒　四二〇円
★ビール（四合一本）　一四七円
平酒小賣商組合

ドルマンとチャイナセーターは平東

一寸よつて気軽に飲める
女店員急募！
レストラン
くるみ
平市新田町

気軽に呑める酒の店
御料理
一力
白銀町15

三月節句のひながしを発売しております
★★★★
◉雛壇のお供へは三色ひながしを御利用下さい
◉御電話注文も承まわります
株式会社 平製パン
平市鍛冶町・電話二一番

新柄春物★大量入荷
スプリングコート
純毛服地
既製服
ズボン各種
皮カバン
（御注文承まわります）
勉強と評判の店
鈴木勘氏商店
平市三丁目平和通り　電732番

市民への公約を無視して

諸橋市政の重税政策

諸橋市長は、市長戦に出馬当時から公約として「市民税は安くし、生活を明るくします」と公言しながら、就任第一年目も近づかうとしている今日、市民への公約を反故にして重税を市民に課している事実が歴然とし、予算市議会で問題となるほか、市民からも猛烈な反対運動が起るらしく注目されている

市民泣かせの

固定資産税三倍の増額

市長の権限に基いて市税の賦課率は高くも低くもかけられる規定となつているが、固定資産税に対し昨年よりも三倍の百分の一、六と標準額を引上げ、廿七年度は二千九百十三万百八十円（九百五十九万六千八百円増）を計上した。これは正に市長の公約違反であり、市民をギマンする政策であると、市会へ反対の猛運動を起す一方市長に対し公約を履行せしむる決議文も突きつけようと強硬な態度をとつている向が多い。即ち市は土地課税に対しても、家屋課税にもその標準額を百分の一六の高率をかけ、土地からは八百三十六万万三千百九十円、家屋からは一千五百十八万七千八百六十円徴収することを当込んでいる

これがため土地及び家屋の所有者は大打撃で、このような重税には耐ゆることが出来ないと反対している

家主泣かせ

一市民は語る

家賃は法規によつて定められているし、土地も値上げは不可能である。安い家賃で家を貸して、修理代などを見ると、ロハで家を貸して置くという結果になる、明け渡し要求しても家は明けてくれないし、これじやわれわれはどうすればよいのか方法がつかない、高い税金のみ納めて市に奉公するようなもので、泣いても泣き切れない

市長も俸給値上

吏員ベースアップ決る

平市ではかねてから市吏員のベースアップを計画していたが財源がなく引き延ばしていたが、いよいよ十月一日にさかのぼつて支給するに決定し、引上率の差額分だけ十月から計算して近く支給する

一般は百分の五十から百分の八十と三十だけ値上り、その他は百分の三十を四十八に、また十五が三十四となつた

右によつて十五級四号の最高が五万円、一級十五号最低は三千六百円となつた

また平市署も差額が四百円未満は六カ以の上、千円未満は九カ月以上、千円以上は十二カ月以上支給と改正

市長も値上

吏員も値上げとなつたからわれわれもというので市長のサラリーも

市長月額三万八千円
助役　三万一千円
支所長　一万七千円
収入役　二万六千円

とお手盛り案を提出した、また市会議員に対しても報酬及び費用弁償支給規程を設け

▽議長　六万五千円
▽副　五万五千円
▽議員　四万五千円
▽選挙管理委員長　一万円
▽同委員　七千円
▽公平委員　四万円
▽公安委員長　六千円
▽同委員　四千円
▽農業委員長　六千円
▽同委員　四千五百円
▽固定評価委員　一日三百円

また消防団に対しても次のよう値上げした

▽団長　五千円
▽副団長　三千円
▽分団長　二千円
▽副分団長　一千五百円
▽庶務部長　二千五百円
▽部長　一千円
▽副部長　八百円
▽班長　六百円、同副五百円
▽団員三百円

市當局の大失態

○を一ケタ違つて

税金を多く徴収していたという事件も持上つて、当局をろうばいさせている

（その一） 平市の某医師だが納税組合に入つているので、例年の通りの税金だと思つてかけていたところ、仲々税額に達しない。これは妙だと思つて令書を調べたところ、昨年四十万円が今年は四百万円になつている　新たに家を求めたわけもなくまた土地も買つていないので当局に出頭し調査したところ、数字のコンマを一ケタ下の方へやつたという係員のあやまちであつた

（その二） この人も同様で、こつちは○を一つ付け加えたので万が十万円となり知らないでいるとそのまま徴収されるという事実が判つた

このような係官の手落ちは単に固定資産税のみでなくいろ〳〵な点にあるだろうと見られている

隣人の温い血で

救われた内郷の斎藤さん

佳話の主は笠原巡査

最後の血の一摘で一命をとりとめた話が内郷町にあり、町の話題となつている、内郷町白水川平常磐炭砿川平坑現場係員斎藤福太郎さん（四七）が三年前から胃の病に倒れてから

斎藤さん一家は子供四人を抱えなすべきすべもなく路頭に迷い一家の貧困は日に〳〵増し、見るに見かねた部落民の人達は陰になり日向になつて助けあつて療養を世話していたが、急に斎藤さんの胃病が**悪化**したため去る二月十二日内郷病院で外科手術した、その経過が余り芳しくなく輸血をしなければ生命がないと医者から赤信号が発せられ、五人の親戚知人が**輸血**したがたらず、若い人の血はマラリヤなので輸血出来ないと判定されて、困つている話を聞いた内郷地区署川平派出所勤務巡査笠原常吉氏（五〇）が十三日同病院を訪れ「斎藤さんと私とは同型であるから輸血して下さい」と申出たので早速輸血したため、斎藤さんの容態はだん〳〵よくなり**退院**を待たれる身となつた、斎藤さんは「部落民の皆々様には一方ならぬお世話になり、お陰様で私も退院出来ることになり、御恩は一生忘れません」と涙ながらに感謝の言葉を語つた

手数料の新設

何んでも手数料を項だい

税金を値上げしてもまだ不足—今度は手数料も徴収と決定した。

一、土地建物に関する証明一件につき三十円
二、納税公課に関する同一件同
三、戸籍に関する同一件同
四、船車一台につき三十円
五、公文書、回面同
六、その他の証明同
七、家屋の調査証明百円
八、土地境界
①測量を要するもの百五十円
②同要しないもの百円
九、課税物件
舟鑑札　五十円
犬　五十円
自転車　五十円
荷車　五十円
一〇、主要食糧販売業者
十一、自転車運転免許証
一件　五十円
十二、同再交附　八十円
十三、自動車運転移動　五十円
十四、銃砲許可二百円
十五、前項再交附　五十円
十六、質屋営業許可　千円
十七、キヤバレー、ダンスホール　千円
十八、料理屋　五百円
十九、遊戯場　三百円
二〇、古物商　千円

その他四十五項目に及んでいるが特に注目を要するものは道路で工事又は作業する場合道路許可を受けると百円、広告板設置二百円、屋台百円、貨物の一時乗用許可証五十円、盗難届五十円など、およそ何事でも手数料がとられる

全先生に波及か

長倉校事件拡大せん

既報長倉小学校の公金横領事件は「教職にある者」との立場から湯本地区署で慎重調査中のところ、事件は更に拡大二十九日さぎ校長も遂に身柄送検された事件は更に校内全教員に波及するものと見られており、事の重大さを知つた同校PTAは近日中に総会を開いて真相究明に乗り出す。なお二十九日まで明かにされた横領の事実は

◇沼田聚PTA資金一万一千円、生活協組の十二万円の着服
◇さぎ校長と大野はそれ〴〵五万円となつている

砂糖自由販売

四月一日から実施

お砂糖が十二年振りで自由販売となります、四月一日から今までの配給を廃止しますが、価値は一寸値上りして一斤八十円程度になろうということです、政府には手持も多いので高くするようなことはないだろうといわれています

甘言で女を売る

勿来の誘惑男検挙

植田地区署では廿八日勿来町白米土工塚田武雄（三九）を人身売の疑いで送検した、塚田は昨年九月植田町斎藤A子（三三）を十日七千円になるうまい仕事があるとダマシ、名古屋市へ連れ込んで売飛ばしたもの、そのほかにも植田町で二名の被害あり余罪追求中

市債　二千五百万円

平市では明年度予算編成に際し、財源難の穴ウメに市債二千四百八十八万円を起すことになつた、その使用目的は

◇第一中学校改築六百五十万円
◇跨線橋負担金五百万円
◇都市計画事業費五百万円
◇失業対策事業費二百三十八万円
◇防火水槽施設費百万円
◇街路事業費五百万円

悪質滞納者多し

県税滞納狩りの余話

石城地方事務所では二月初旬から県税滞納の一せい処分に乗り出し管内三十六ケ町村に吏員総動員で徴集に当つているが納税成績は依然底く、逆に差押物件は二百六十件を突破する現状、納税者の中には二十五、六年度の税の滞納時代は生活、事業状態もある程度保つていたが現在はすつかり没落、税金どころかその日の生活すらかろうじてさゝいてる現状にあり徴収吏員の同情、再考を呼んでいるところもある

一方税務官吏の目をくらまして幾分でも税額を安くしてもらうための「こんたん」から、わざと身なりを悪くし、風呂にも入らず、中にはわざとスミを顔に塗つたりして泣き込むという芝居かゝつたものも現れたという

同地方事務所ではこの種の者に対しては実状を調査の上善処また悪質者は断固処分すると語つている

落盤で即死

二十九日午前八時ころ石城郡上遠野村東海炭鉱第二坑で落盤、採炭夫高萩喜市（四六）さんは下敷となり即死

春は家出のシーズン

仙台の少年平へ現る

仙台市極楽町南小学校三年生千葉健一（一〇）さんは二十一日小牛田の叔父のところに行つて来ると家を出たが、郡山から平駅と家出の旅を続けて二十九日平公安室に保護され、親元に紹介引渡された

なお此の程小供の家出が最近の春の気ざしとともにめつきり多くなり平公安室だけでも二月中五、六件もあつたといわれ、親元の子供達に対する一段の注意が望まれている

強盗自首

古河の犯人

二十八日夜古河好間炭鉱電工場に侵入、ナマリを盗んだ上に警備員を殴つて逃走した、強盗、傷害犯人内郷町宮士工斎藤貢（三〇）は二十九日内郷地区署に自首、一日平地区署に移送された

二十年振りの雪です

九州から海岸一帯降る

二月に入り降り出した雪は平年少い石城地方としては何十年振りで廿日目の雪は一千十三ミリバールの底気圧が東海道に添つて東北に卅五ノットの早さで進んでいるのが原因で九州四国、東海道等本県までの大平洋九岸が雪となつている、積雪は小名浜廿九日正午現在で十一糎・本年七回目で昭和廿年廿九糎の最高積雪以来の雪だと小名浜側候所では語つている

水道予算

給水工事に着手

平市特別会計廿七年度水道事業費は二千六百八十五万二千二百円で昨年度に比べ一千三百三十八万一千円の大増加を招いた、これは百五万円で揚水器の修理を行うほか、明年度の拡張工事費一千五百万円を計上、施設費としてポンプ十九万、送水路線四十四万三千円、浄水構場四十六万、配水管維持費三十万、給水工事三百万円などである

社告

湯本方面の本紙購読申込みは
湯本町表町
千葉英一
電話三〇八番
お願い致します

編集記者募集

一、高校卒以上の学力あるもの
二、履歴書御送附下さい
追つて面会日を通知します

常磐毎日編集部

簡単な金融
壱万円より最高拾万円まで日掛返金
参万円までは家族の方の保証人にて可
財務局登録済　常磐商事株式会社
平市三丁目　電話九二八番

胃腸病科
内科小児科
成圭堂醫院
半井清之
平市鎌田町　電一、二九五番

服地のマルエ
婦人服地
紳士服地
春の
豊富入荷
平市銀座通り
電265番

各種製綿卸商
大量注文に応ず
ツタヤ綿店
渡辺一二三
工場　平市正月町

歯科一般
鈴木歯科医院
鈴木喜政
内郷町大字宮　電（綴）八一番

神戸牛の店
マル
各種宴会用折詰及びロースハム・プレスハム
ソーセージ各種取揃えてありますから御来店下さい
平市銀座通り　電二七一番